



写真1 紀ノ川左岸より隅田荘を臨む

左部が上兵庫，中央部が中島，右部が隅田八幡神社のある垂井。中世を中心とするこれまでの隅田荘に関する研究動向については、「研究の総括」を参照。



写真2 隅田八幡神社の例祭

隅田八幡宮では10月15日に例祭が催されるが，このとき当番にあたった各地区ごとに山車(だんじり)を繰り出す。近世における隅田八幡の祭祀と地域社会の変容については岩城卓二論文を参照。



写真3 明治6年境原村絵図 橋本市立郷土資料館蔵
 境原という地名は室町期には確認できる。当地域については勝田至・出田
 和久論文を参照。

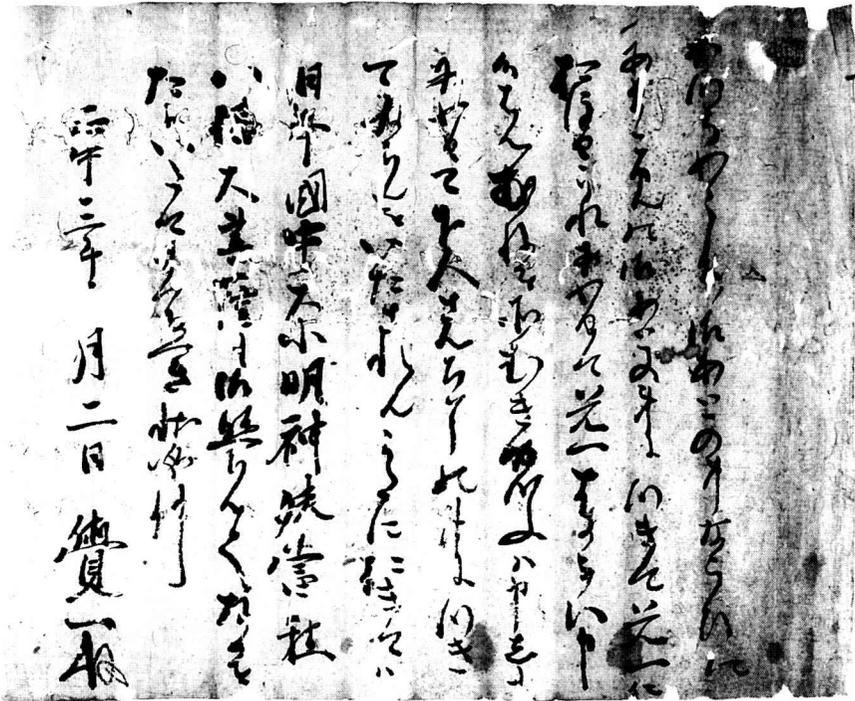


写真8 覺一起請文案 正申3年(1326)・□(3カ)月2日 葛原忠綱家文書
「かつらわら」の名がみえる最初の文書。



写真9 隅田家等文書所持書付(後欠) 享保9年(1724)4月 葛原忠綱家文書
近世における隅田一族の文書管理を教えてくれる史料。隅田家や葛原家の
文書の伝来については、久留島典子論文を参照。

唯此文之事

一隅田八幡宮の文選を乞ふに標
 といふ事ありしに隅田八幡
 宮長尾七九右衛門殿之月但
 儀は守場市に於て續中より是
 等事ありしに隅田八幡宮
 之事

一隅田八幡宮の文選を乞ふに標
 といふ事ありしに隅田八幡
 宮長尾七九右衛門殿之月但
 儀は守場市に於て續中より是
 等事ありしに隅田八幡宮
 之事

右者延寶八申之年未選標の
 事ありしに隅田八幡宮長尾
 七九右衛門殿之月但儀は守
 場市に於て續中より是等事
 ありしに隅田八幡宮之事

先例母之也此中又之に於て
 後長尾七九右衛門殿之月但
 儀は守場市に於て續中より
 是等事ありしに隅田八幡宮
 之事

為後長尾七九右衛門殿之月
 但儀は守場市に於て續中より
 是等事ありしに隅田八幡宮
 之事

天和元年十月
 隅田八幡宮

写真12 隅田八幡神社の棧敷争論 天和元年（1681）10月 隅田八幡神社文書



写真13 祭礼の際の隅田一族の装束 昭和初期
 昭和初期まで隅田一族の家筋の人々は特別な装束で祭礼に参加した。



写真14 境原地区

右上方が小峰寺。開発が進み集落の後背の山が削り取られて学校や住宅が建てられてきている。

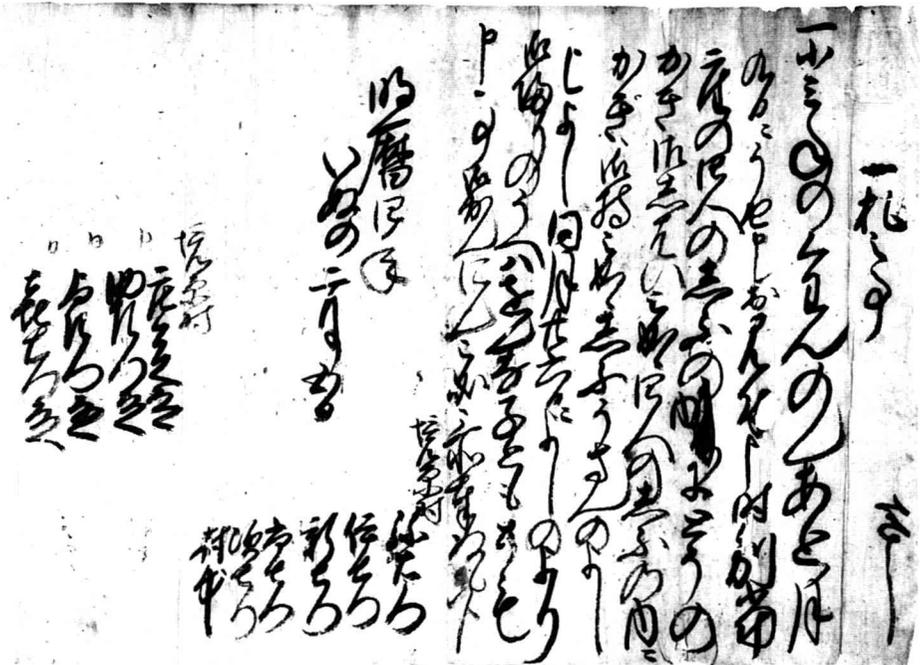


写真15 小峰寺本尊紛失につき一札 明暦4年(1658)2月5日 葛原家文書

17世紀中頃から、小峰寺の在り方をめぐってたびたび争論が起きている。
渡辺尚志論文参照。



写真16 恋野地区の堂座講

恋野地区では、現在でも毎年正月に堂座講の行事が行なわれている。



写真17 中道村免定 慶安3年(1650)閏10月28日 宮下彰義家文書



写真18 榑谷川から引いた中道村の分水樋



写真19 榑谷兩村分水之事 寛文10年(1670)6月9日 上田正嗣家文書
 分水については、福田アジオ・深谷克己論文を参照。



写真22 上田家（屋号ドイ）と上田家（屋号ゴンノカミ）を再興した上田正定が建立した宝篋印塔

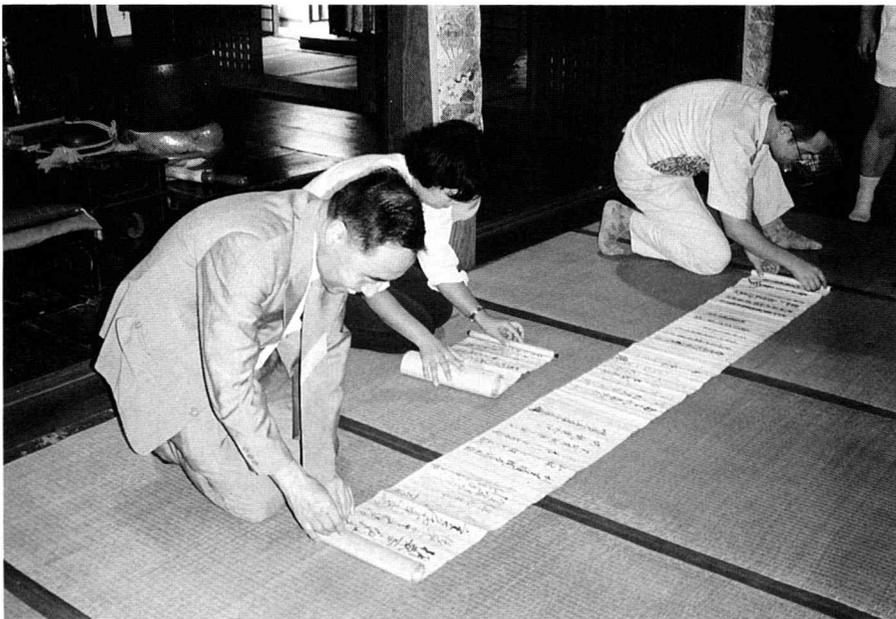


写真23 隅田荘関係中世文書の閲覧風景。久留島典子論文参照。